

「簡単」「便利」な資料請求環境を提供

テレメールは、2回目以降の資料請求が「簡単」「便利」。
各大学でも共通のパスワードで使える資料請求システムです。

2回目以降の資料請求では個人情報をご入力する必要がなく、初回利用時に登録した4桁のパスワードと7桁の郵便番号を入力するだけの非常に簡単な手続きで必要な資料を取り寄せていただくことができます。



190校の国公立大学・短大と397校の私立大学・短大が、資料請求方法として、公式サイト上でテレメールを採用しています。大学の公式サイトからでも、登録したパスワードが共通に使い、簡単に資料請求ができます。テレメールで入学者選抜要項、学生募集要項、願書やネット出願資料を請求できる大学の公式サイトの一例を紹介します。

- ▲大阪大学 <https://www.osaka-u.ac.jp>
- ▲南山大学 <https://www.nanzan-u.ac.jp>
- ▲埼玉大学 <https://www.saitama-u.ac.jp>

テレメール進学カタログ 活用のご案内

クラス担任先生用資料

願書&ネット出願資料 請求カタログ

テレメール
願書&ネット出願資料
請求カタログ

願書、募集要項やネット出願資料、
大学パンフ、学部パンフが取り寄せられる!
学外試験実施大学も掲載!
多くの国公立大学で一般募集要項も請求できる!

資料請求のスタンダード
受験生の約7割が利用!
テレメール

国公立大学・短大194校 私立大学・短大646校を掲載!

●一般選抜 ●総合型選抜 ●学校推薦型選抜	願書	募集要項
ネット出願資料	入試ガイド	
入学者選抜要項	大学パンフ	
学部・学科パンフ	過去問題集	

などの資料が取り寄せられる!

受験に役立つ情報を掲載!

「2024年度一般選抜 学外試験 実施大学一覧(P34)」を掲載。お住まいのエリアで学外試験を実施する大学を簡単に確認することができます。受験しやすい大学の幅を広げ、併願校の検討にも役立ちます。

本カタログで請求できる資料やカタログの活用方法などを紹介! 詳しくは中面をご覧ください。

専門学校の資料を請求できるカタログもあります。

「テレメール 願書&ネット出願資料請求カタログ(国公立大学・私立大学・専門学校編)」には、大学・短大に加え、1,372校の専門学校の資料請求番号を掲載しています。「テレメール 願書&ネット出願資料請求カタログ(国公立大学・私立大学・専門学校編)」をご利用の場合にも、本資料をご参照ください。

大学進学希望者の約7割が 利用する資料請求システム

テレメールは進学関連資料の請求においてスタンダードな資料請求システムとして、大学進学希望者の約7割に利用されています。特に大学入学共通テスト翌日から10日間の資料請求は約8万件、ピーク時には1日1万2,000件以上の資料請求を例年受け付けています。願書請求が集中する時期でも即日発送処理を行い、受験生の出願をしっかりとサポートしています。

テレメール利用実績 2022年度
全受験生に占める割合



*高校生・受験生全体のテレメール利用者
94万人から、高1生・高2生を除いた利用者数



カタログの活用方法と指導例

ネット出願の拡大と合わせて、入試情報を大学公式サイトなどで確認する機会が増えていますが、実際には多くの大学・短大が学生募集要項・入学試験要項などの「入試に関する資料」を発行しています。入試制度や入試科目の比較、入試日程の把握など、出願校の検討や出願準備には、大学が発行する資料の活用をご指導ください。

紙の願書だけでなく、ネット出願の大学でも「入試に関する資料」が発行されています。

ネット出願を実施する大学の主な発行資料 【国公立大学・短大】 入試の概要を掲載した「入学者選抜要項」「学生募集要項」が発行されています。 【私立大学・短大】 「入学試験要項」「学生募集要項」「入試ガイド」などが発行されています。

多くの私立大学・短大は、ネット出願の場合でも入学試験要項や学生募集要項などの入試関連資料を従来どおり発行しており、出願書類が含まれない場合、本カタログでは「ネット出願資料」と表記しています。また、「入試ガイド」にも入試情報が掲載されていますので、同様に取り寄せるようご指導ください。

●本カタログで入手できる「入試に関する資料」例



一般選抜
願書・ネット出願資料
※画像は昨年度版



入試ガイド
(私立大学)



入学者選抜要項
(国公立大学)



総合型選抜
願書・ネット出願資料



学校推薦型選抜
願書・ネット出願資料

●選抜方式が多様化。入試情報やスケジュールの把握には冊子が便利

特に私立大学では選抜方式が多様化しており、一つの学部・学科でも複数の出願機会があります。大学公式サイトなどでだけではすべての入試情報やスケジュールを把握することは難しいため、学生募集要項や入学試験要項などの冊子実物が手元にある方が確認しやすくなり、重要箇所をチェックすることなどで、見落としの防止にも繋がります。

●出願する可能性がある大学は、出願に関する情報も早めに確認

ネット出願であっても提出書類の郵送や検定料の支払いなどが必要になり、発送期限や支払い方法を事前に把握しておく必要があります。大学公式サイトの情報だけでなく、資料を入手することで保護者にも相談しやすくなります。

テレメールでしか請求できない国公立大学の「一般募集要項」を多数掲載しています。

学生募集要項などの「入試に関する資料」を冊子として発行せず、大学公式サイトなどでPDFを閲覧するという大学も増えていますが、高等学校の指導現場や保護者からのお問い合わせでは、冊子実物が手元にないことを不安に感じる声が多く聞かれます。

●募集要項の冊子をお届けできる国公立大学が増加

情報の入手環境改善・入試制度の理解促進のために、募集要項の冊子を手元でできる国公立大学が増えています。募集要項などの冊子実物を手元に置くことで、入試制度の理解や他校との比較検討もしやすくなり、先生や保護者とも相談をしながら志望校を決めていくことができます。

請求できる資料が豊富なカタログです。【P4・5参照】

一般選抜に関する資料以外にも、総合型選抜・学校推薦型選抜の願書やネット出願資料などが請求できます。また出願校を決める際の大学研究用として大学案内パンフや学部・学科案内パンフ、過去問題集など、幅広い資料が請求できるカタログです。

願書やネット出願資料の入手方法として、 テレメールの利用をご指導ください。

「安心」「確実」な資料請求環境を提供

請求受付から発送まで一元管理しています。

テレメールで請求された資料は、請求受付から発送までテレメールカスタマーセンターが一貫して行っています。願書やネット出願資料、大学案内パンフなどの資料は予め大学・短大などからお預かりしていますので、16時までに請求された資料は当日中に郵便局へ差し出します。また、曜日を問わず毎日発送を行っていますので、土日祝日に請求された資料も迅速・確実に発送しています。

年中無休で有人のカスタマーサポートを設置しているのはテレメールだけ。

資料の到着を安心してお待ちいただけるよう、土日祝日を問わず有人のカスタマーセンターが稼働しており、徹底したサポート体制を敷いています。

願書が1～2日で届く発送サービスをご利用になれます。

国公立大学・短大、大学校の願書を含む資料については、「1～2日後に届く発送サービス(追跡サービス付き)」を、追加料金200円でご利用になれます(発行部数の少ない一部の資料は除く)。また、私立大学・短大の願書やネット出願資料については、一部の資料に限り、本サービスをご利用になれます。

※詳細は本カタログのP3に掲載しています。

国公立大学の一般選抜募集要項は、テレメール速達対応を実施します。

2024年1月27日(土) 昼12時迄に請求できなかった方のために、2024年1月27日(土) 昼12時～1月30日(火) 昼12時迄の期間、国公立大学の一般選抜募集要項は「テレメール速達対応」を実施します。

※テレメール速達対応の場合は料金が異なります。詳細は本カタログのP16に掲載しています。

※国公立大学の一般選抜の出願期間変更に伴い、2023年7月にテレメール速達対応の実施期間を当初の日程から変更しました。

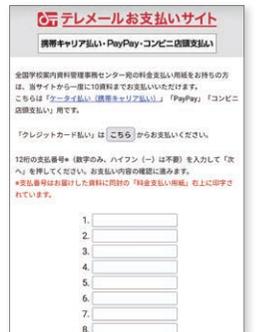
有料資料の料金のお支払いについて

料金は資料到着後の後払いです。

有料資料の料金は、資料が届いてからお支払いいただく後払い方式です。必要な資料はすばやく簡単に請求してもらい、到着後にお支払いいただきます。

複数資料の料金を一度に10資料までお支払いできます。

国公立大学・短大、大学校、一部の私立大学・短大など、全国学校案内資料管理事務センター宛に料金を支払う資料は、「テレメールお支払いサイト」で手続きをすることで複数資料の料金を一度に10資料まで支払うことができます。



テレメールに対する信頼の高さは、
公的機関で利用されていることでも証明されています。

テレメールの利便性や個人情報の取り扱いについての高い基準などが評価され、大学入学共通テストや、文部科学省の高等学校卒業程度認定試験などの公的機関の資料請求方法としても、テレメールが採用されています。